～宮大生のための海外渡航～

オタゴ大学ランゲージセンター留学報告

教育文化学部　学校教育課程　中学英語専攻　1年　（阿萬晴夏）

〇派遣：ニュージーランド・オタゴ大学ランゲージセンター

〇派遣期間：　2015 年　2月　18日　～　2015 年　3 月　23 日

〇渡航時の学年：　1 年次

〇渡日前の手続について

・参加に至った経緯について：

以前から留学をしたいと思っており、いくつかの短期留学について調べていました。その中で最もこのオタゴ大学での留学が英語力を伸ばせそうだと思い参加を決めました。また、教育文化学部は長期休暇に実習や講義が入ることが多いのですが都合よくこの期間に何もなかったので留学を経験する絶好のチャンスでした。

・渡航に関する手続について：ホームステイ先のことや授業料、航空券の手配などほとんどの手続きを大学側がしてくださいました。

・査証取得：

なし

★体験記：

〇生活費：渡航費は約23万、食費は約5千円、バス代は約1万円でした。あと私はツアーに1万3千円使いました。ツアーには2種類あり、3万するツアーもありました。大学にはカフェがあるのでそこで昼食を買うことができますが少し高いので、スーパーでインスタント麺やパンを買って済ませていました。

ツアーに参加してニュージーランドにしかいない目の黄色いペンギンを見ました。

〇ホームステイ先の環境：ホストマザー、ファザー、その娘とその方のボーイフレンド、中国からの留学生が住んでいました。賑やかで英語にふれる時間もとても多かったので勉強になりました。ホームステイ先の部屋には机、ベッド、タンス、暖房器具、パイプハンガーがありました。私のホームステイ先では調理器具や洗濯機を自由に使わせてもらえました。

〇大学のサポート状況：とても親切な対応で質問にも答えてくださりました。私がクレジットカードを持っていってなく工場見学の予約ができず、相談したら大学側が行ってくださり助かったということもありました。

〇授業の様子：スピーキング、リスニングが中心に行われました。先生もクラスメイトもとてもいい方々で質問やディスカッションなど積極的にできる環境でした。

〇他の留学生たちの様子：日本人がとても多かったです。韓国、中国、タイ、サウジアラビアなどからも来ていました。皆さんとても親しみやすい人でした。

上の写真は一緒に昼食を食べていたメンバーです。日本人とかたまって食べるのではなくいろんな国の人と交ることで昼食の時も英会話の練習ができました。

〇現地学生との交流：現地学生との交流はありませんでした。

〇街の様子：大学から徒歩15分の所に中心街があり、スーパーやお土産屋さんなどあります。その近くにはダニーデン駅やチョコレート工場があります。

〇その他：

〇今後、海外渡航を希望する宮大生のみなさんへ

1か月間という短い期間でしたがとても貴重な体験ができました。1か月間毎日英語を聞いて話すという生活を続けると、日本に帰ってからも英語を日常生活でもっと使おうと思うようになり、兄弟と英会話をするようにしたり、外国のニュース番組を見たりするようになったので良い習慣がついたなと感じています。費用はかかりますが参加する価値はあると思います。